

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 7月19日(木)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 7月19日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	残留熱除去系(B)原子炉側入口弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	
2	3・4号廃棄物処理設備	塩分除去装置(A-2, B-1, B-2)計量タンクにおいて、溶接部に処理水の滲み(汚染なし、滴下なし)が認められたため、当該部を点検・修理。 なお、タンクは排水受け容器内に設置されている。	GⅢ	
3	3・4号廃棄物処理設備	プロセス放射線モニター系雑固体廃棄物焼却設備排気放射線モニター(A)試料採取ポンプにおいて、自動停止(再起動で異音あり)が認められたため、当該ポンプを点検・修理。 なお、雑固体廃棄物焼却設備排気放射線モニター(B)は正常運転中。	GⅢ	